

September 9, 2020

【前日の為替概況】ポンド全面安、通商合意なき EU 離脱観測、対ドル 1.2980ドル、対円 137.62 円

8日のニューヨーク外国為替市場でポンドは全面安。英国と欧州連合（EU）が自由貿易協定（FTA）を締結できないまま、年末までの移行期間を終える可能性が高まりポンド売りが膨らんだ。ポンドドルは1.2980ドルと7月30日以来の安値を付け、ポンド円は137.62円と7月31日以来の安値を更新した。また、ユーロポンドは一時0.9071ポンドと7月30日以来のユーロ高・ポンド安水準を付けた。

ドル円は3営業日ぶりに反落。終値は106.03円と前営業日NY終値（106.27円）と比べて24銭程度のドル安水準。欧州時間に106.38円と前日の高値に面合わせする場面もあったが、NY市場ではさえない展開に。ダウ平均が一時660ドル超下落し、ナスダック総合が4.2%超安となったことを受けて、リスク・オフの円買いが優勢になり一時105.86円と日通し安値を更新した。米10年債利回りが0.6624%前後まで低下したことも意識された。

ユーロドルは6日続落。終値は1.1778ドルと前営業日NY終値（1.1817ドル）と比べて0.0039ドル程度のユーロ安水準。英国とEUの将来の関係を定める交渉が難航するなか、先行き懸念からユーロ売りが先行。株価の下落を背景にリスク・オフのドル買いも入り一時1.1766ドルと日通し安値を付けた。

ユーロ円は5日続落。終値は124.86円と前営業日NY終値（125.58円）と比べて72銭程度のユーロ安水準。米国株の大幅下落を背景に投資家がリスク回避姿勢を強め円買い・ユーロ売りが優勢となった。一時124.70円と日通し安値を付けた。

カナダドルは軟調。WTI原油先物価格が一時9%超急落したことで、産油国通貨とされるカナダドルは売りが優勢に。対米ドルでは一時1.3239カナダドル、対円では80.09円まで下落した。産油国通貨とされるノルウェークローネは対ドルでは9.1394クローネ、対ユーロでは10.7647クローネ、対円では11.60円まで大きく売り込まれた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、リスク回避(NY株安、米金利低下、原油安)で軟調推移か

本日の東京外国為替市場のドル円は、リスク回避地合い（NY株安、米10年債利回り低下、原油安）で軟調推移が予想される。

ドル円のテクニカルポイントは、一目均衡表・転換線と基準線の106.08円、一目均衡表・雲の下限の105.86円にある。注文状況は、上値には、106.40-60円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、105.60円、105.40-50円にドル買いオーダーが控えている。

10時30分に発表される8月中国消費者物価指数（CPI）の予想は、前年比+2.4%で、7月の+2.7%から鈍化が見込まれ、8月中国生産者物価指数（PPI）の予想は前年比-2.0%となっており、7月の-2.4%からの上昇が見込まれている。予想通りならば、中国の物価は、新型コロナウイルスの感染を受けた物価押し下げ状態を脱し切れていないことが確認されることで、リスク回避要因となる。

ポンドドルは、通商合意なきEU離脱懸念が高まっていることで1.29ドル台まで続落している。ジョンソン英政権は、本日「EU離脱協定」を一部無効にする修正法案を提出する見込みとなっており、昨日8日から明日10日まで開催されている英国と欧州連合（EU）の通商交渉第8ラウンドを決裂させかねないことで要警戒となる。今年1月に署名された「EU離脱協定」に関して、これまで7回の通商交渉が行われてきたが、協議は難航して膠着状態に陥っている。そこへ、ジョンソン英政権が修正法案を提示した場合、EUは「英国が離脱合意の修正を試みれば通商協定はそもそも実現しない」と警告しており、通商交渉は決裂し、英国は通商合意なきEU離脱となる可能性が高まることになる。すなわち、英国政府による修正法案の内容次第では、ロンドンで通商協議中のバルニエ欧州連合（EU）首席交渉官が、明日までの協議予定を中断して、交渉決裂となるリスクシナリオに要警戒となる。

ユーロドルは、明日の欧州中央銀行（ECB）理事会でのパンデミック緊急資産購入プログラム（PEPP）の拡大観測やラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁によるユーロドル上昇に対する牽制発言の可能性などから1.17ドル台へ下落している。ユーロドルのテクニカル分析では、ダブル・トップ（1.1966ドル・1.2011ドル）を形成しており、価格は高値更新したが、相対力指数（RSI）は高値更新できていないことで、上昇エネルギーの枯渇を示唆する「弱気の乖離（ベアリッシュ・ダイバージェンス）」が示現している。ダブル・トップ完成の目安となるネック・ラインは、本日1.1751ドルにあり、割り込めば目標値1.1500ドル処が点灯する。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 8月マネーストック M2 (予想: 前年比 8.1%)

<海外>

○07:45 ◇ 4-6月期ニュージーランド (NZ) 製造業売上高

○09:30 ◇ 9月豪ウエストパック消費者信頼感指数

○10:00 ◇ 9月 NBNZ 企業信頼感

○10:30 ◎ 8月中国消費者物価指数 (CPI、予想: 前年比 2.4%)

○10:30 ◎ 8月中国生産者物価指数 (PPI、予想: 前年比▲2.0%)

○14:45 ◇ 8月スイス失業率 (季節調整前、予想: 3.3%)

○19:00 ◇ 7-9月期南アフリカ経済研究所 (BER) 企業信頼感指数 (予想: 8)

○20:00 ◎ 8月メキシコ CPI (予想: 前月比 0.39%)

○20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数

○21:00 ◎ 8月ブラジル IBGE 消費者物価指数 (IPCA、予想: 前月比 0.23%)

○21:15 ◇ 8月カナダ住宅着工件数 (予想: 22.00 万件)

○23:00 ☆ カナダ銀行 (BOC、中央銀行)、政策金利発表 (予想: 0.25%で据え置き)

○10日 01:00 ☆ 4-6月期ロシア国内総生産 (GDP) 改定値 (予想: 前年比▲8.5%)

○10日 02:00 ◎ 米財務省、10年債入札

○英国と欧州連合 (EU) の首席交渉官級による第 8 回協議 (ロンドン、10日まで)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

8 日 12:50 習・中国国家主席

「中国は新型コロナウイルスに関してオープンかつ透明性のあるやり方で行動」

8 日 18:12 ショルツ独財務相

「ロンドンからの最新のシグナルは、ブレグジット合意へ期待ができない」

「ただし(最新のシグナルは)戦略なのかもしれない」

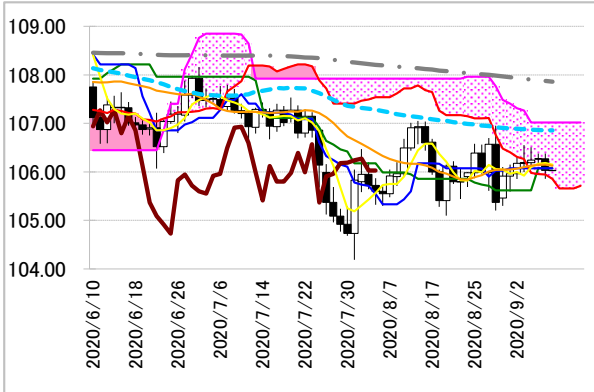
「1 つ明確なことは、無秩序なブレグジットは欧州には良くないが、英国と英国市民にとっては災害になるだろう」

8 日 20:53 メイ英前首相

「もし英国が国際的な合意を変更したら、他のパートナー国はどうして英国を信用することができるのか」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

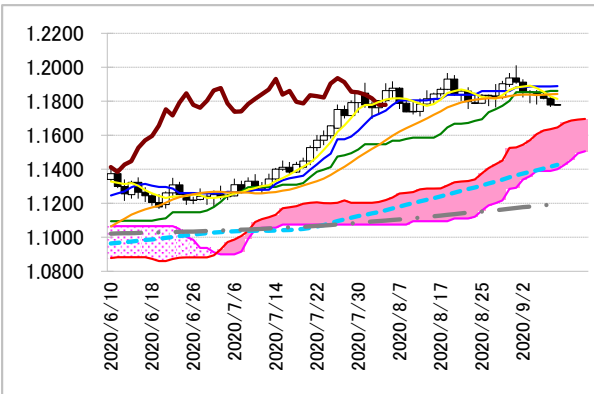


<ドル円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線と同値、運行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を下回って引けていることで売りシグナルが優勢な展開となっている。5手連続陽線で反発したものの、28日の大陰線を上回ることが出来なかったこと、寄引同事線により、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	107.02(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	106.03
サポート1	105.20(8/28 安値)
サポート2	104.19(7/31 安値)

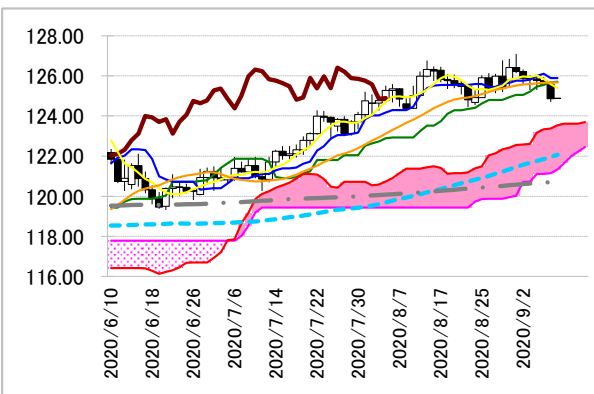


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。運行スパンは実線を下回っているが、一目・転換線は基準線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開。しかし、高値圏での孕み線、6手連続陰線で転換線を下回って引けていること、逆行現象(ダイバージェンス)などで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1889(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1778
サポート1	1.1711(8/12 安値)

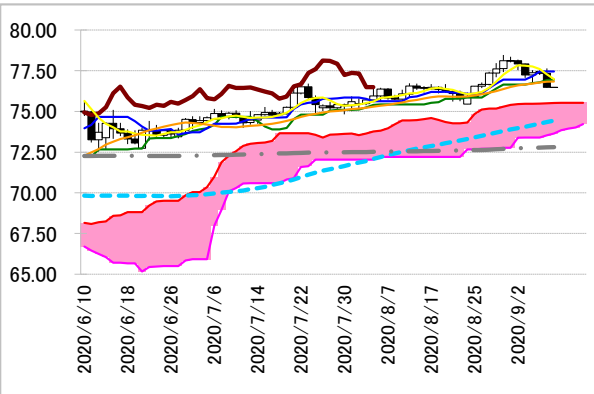


<ユーロ円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、運行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、5手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	125.89(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	124.86
サポート1	123.53(日足一目均衡表・雲の上限)



<豪ドル円=抵抗線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、運行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、2手連続陰線で転換線を下回って引けており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	77.46(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	76.49
サポート1	75.51(日足一目均衡表・雲の上限)

